

DAIDO METAL

株主のみなさまへ

第109期 中間報告書

第2四半期連結累計期間 2016年4月1日～2016年9月30日

Together To The Top

CONTENTS

株主の皆様へ	1	配当情報	7
連結決算ハイライト(前年同四半期比)	1	中期経営計画(Together To The Top)進捗レポート	7
営業のご報告	2	企業情報	9
事業の概要	3	会社概要/役員	9
事業別製品の紹介	3	株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
決算の状況(連結)	5	株主メモ	11
業績の推移(連結)	6	株式に関する諸手続のご案内	11
2017年3月期 通期業績予想	7		



代表取締役会長
兼最高経営責任者

梶 誠吾



代表取締役社長
兼最高執行責任者

恒山 恒太郎

連結決算ハイライト(前年同四半期比)

1 2017年3月期第2四半期(累計)決算概要

単位:百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】 2016年3月期 第2四半期	【当期】 2017年3月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率
売上高	41,981	39,314	△2,667	△6.4%
営業利益 (同利益率)	3,527 (8.4%)	2,894 (7.4%)	△633	△18.0%
経常利益 (同利益率)	3,762 (9.0%)	2,610 (6.6%)	△1,152	△30.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	2,050 (4.9%)	1,793 (4.6%)	△256	△12.5%
為替レート (1USドル/円)	122.45	102.91	左記為替レートは 各期6月末TTMレート	
為替レート (1ユーロ/円)	137.23	114.39		

売上高

前年同四半期比26.6億円(△6.4%)の減収。

＜国内＞

前年同四半期比2.3億円の減収。新たな分野の電気二重層キャパシタ用電極シートの販売が伸びたが、軸受生産の海外移管や船舶向け及び建設機械向けの軸受販売減少の影響を受けた。

＜海外＞

前年同四半期比24.3億円の減収。自動車関連では北米を中心に増加したが、北米での建設機械向けや、欧州での中小型船舶などの中高速ディーゼルエンジン用軸受の販売減少に加え、円高により円換算後の売上高が減少した。但し、現地通貨ベースでは北米、アジアが増収であった。

利益

船舶向け及び建設機械向けの売上高減少に伴う利益減少や、北米の増産に伴う経費増加などがマイナス要因となり、営業利益は6.3億円の減益。経常利益は11.5億円の減益。親会社株主に帰属する四半期純利益は2.5億円の減益となった。

2 所在地別 売上高・営業損益

国内

・新たな分野の電気二重層キャパシタ用電極シートの販売が伸び、自動車関連は概ね堅調であったが、軸受生産の海外移管の影響や建設機械向け及び船舶向けの販売減少などにより全体の売上高は前年同四半期を1.0%下回った。営業損益では、建設機械向け及び船舶向けの軸受販売減少により減益となった。

アジア

・中国・タイを中心に現地通貨ベースでの販売は堅調であったが円高による円換算後の売上高が減少した。営業損益は、為替影響もあり減益となった。

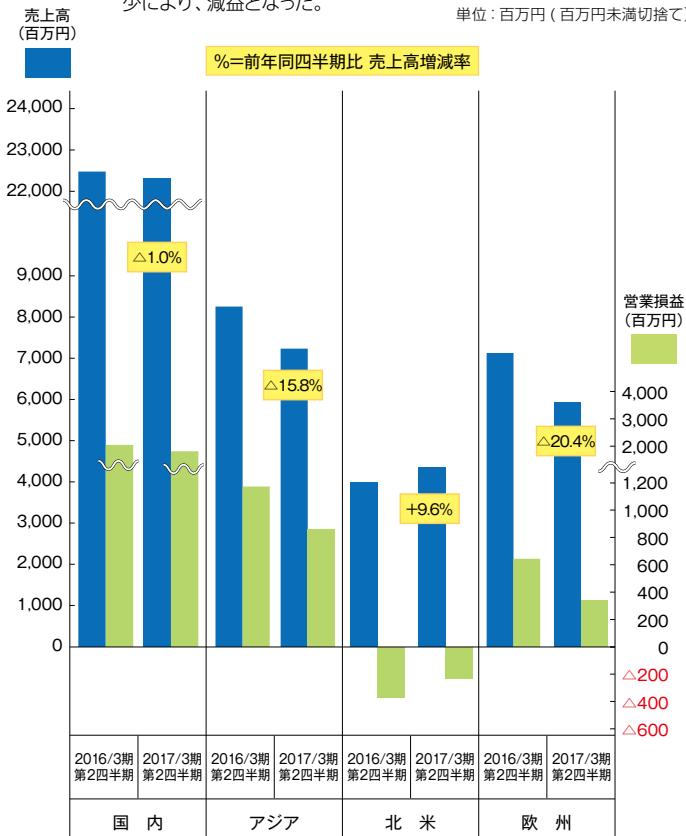
北米

・需要拡大を受け自動車向け売上高は堅調ながら、建設機械向けの販売減少が売上高の伸びを抑制した。営業損益は、前年より改善したものの北米の増産に伴う経費増加等の影響により計画通りの損益には至らなかった。

欧州

・自動車関連の売上高は現地通貨ベースでは堅調であったが欧州通貨安の影響を受け円換算後の売上高は減少した。中小型船舶などの中高速ディーゼルエンジン用の軸受の売上高は減少した。売上高の減少により、減益となった。

単位:百万円(百万円未満切捨て)



営業のご報告

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2017年3月期第2四半期(累計)における営業のご報告を申し上げます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、自動車産業関連は中国・米国・欧州などの需要拡大を受けて生産数量は堅調でしたが、円高の影響により円換算後の売上高減少となりました。また非自動車分野である船舶向け及び建設機械向け売上高は外部環境の影響により減少を余儀なくされました。その結果、グループ全体での売上高は393億14百万円と前年同四半期に比べ26億67百万円(△6.4%)の減収となりました。一方、地域別に現地通貨ベースの売上高を見た場合、アジア、北米において増収となりました。

また、利益面では、船舶向け及び建設機械向けの売上高減少や、北米等での大幅な増産に伴う先行費用などがマイナス要因となり、営業利益は28億94百万円と前年同四半期に比べ6億33百万円(△18.0%)の減益となりました。経常利益は26億10百万円と前年同四半期に比べ11億52百万円(△30.6%)の減益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は17億93百万円と前年同四半期に比べ2億56百万円(△12.5%)の減益となりました。

現在、当社グループでは、中期経営計画「Together To The Top(ともにトップを目指そう)」(2012年4月～2018年3月までの6カ年)に基づき、当計画の最終年度において、自動車用エンジン軸受や大型船舶向け低速ディーゼルエンジン用軸受のみならず、すべり軸受の全分野での世界トップシェア獲得を実現すべく、2012年度から2014年度までの第1ステージでは事業基盤の拡充と再構築を図るべく、特に売上拡大に対応したグローバルベースでの生産能力の増強に取り組みました。

2015年度から平成2017年度までの第2ステージの最終年度において、当社グループのチャレンジ目標である「連結売上高1,110億円、営業利益167億円、営業利益率15%以上」の達成、並びに「すべり軸受の全産業分野での世界トップシェア獲得」の実現を目指すべく邁進してまいります。

常に、「DAIDO SPRIT」(夢・希望・挑戦)を忘れずに、グループが一丸となって勇気ある挑戦を続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2016年12月

事業の概要

軸受(メタル)とは、回転する軸を支える部品です。エンジンを始め、回転する部分がある機械には必ずといってよいほど使用されており、機械の性能を左右するほどの重要な部品です。

大同メタルが製造しているのは「すべり軸受」(プレーン・メタル、平軸受とも言う)と呼ばれる軸受で、ボールベアリングなどの「ころがり軸受」とは異なります。

一般的に「すべり軸受」は、半永久的に寿命が長く、負荷能力(支えられる重さ)は速度とともに増加し、静かで、耐衝撃性があることから、自動車、船舶、建設機械などのエンジン用軸受等に適しています。

当社は、自動車のみならず、多種多様の産業分野の軸受を手掛ける、「総合すべり軸受メーカー」です。



半割メタル



スラストワッシャー



ブシュ

事業別製品の紹介

自動車用エンジン軸受

通常、自動車のエンジン部分には1台あたり平均で約20個の軸受が使用されています。当社はこの自動車用エンジン軸受において、世界シェア約31.8% (2015年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。



自動車用エンジン以外軸受(自動車部品用軸受)

自動車では、エンジン部分以外にも、いろいろな場所に多くの軸受が使用されています。中でも当社は、ターボチャージャー用軸受(スモールターボ)では世界シェア約32% (2015年暦年当社推定) のトップシェアを有しています。また、ショックアブソーバー用軸受においても国内で極めて高いシェアを有しています。



スロットルボディ用ブシュ



ターボチャージャー用
スラストベアリング



ターボチャージャー用
フローティングベアリング



パワーステアリング用
ポンプブシュ



エアコン用チップシール
(スクロールコンプレッサー)



ラックアンドピニオン
ステアリングブシュ



ショックアブソーバー用
ブシュ



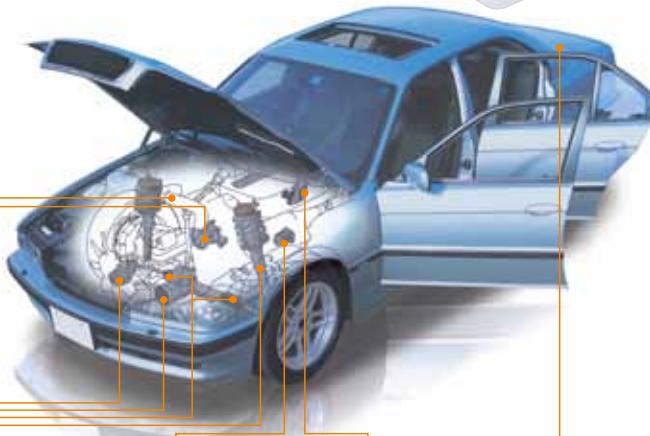
スターター用ブシュ



フロントリクライニング
シート用ブシュ



トランクリッドブシュ/
エンジンフードブシュ



建設機械・中小型船舶ディーゼルエンジン用軸受

ショベルカーなどの建設機械のエンジン部分・シリンダー部分や中小型船舶のエンジン部分に使用されています。当社は、建設機械・農業機械用の軸受においても国内外で高いシェアを有しています。



大型船舶エンジン用軸受

船舶のエンジンに用いられる軸受は、大きいものでは内径1メートルにもおよびます。当社は大型船舶用の軸受においても世界で約50%（2015年暦年当社推定）のトップシェアを有しています。



一般産業用軸受・その他

オフィス用機器はもとより水力・火力などの発電設備、高速車輛、鉄道事業、免震・制振装置など、多種多様な産業分野の軸受を手掛けています。また、ロータリーポンプ、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シートなど、軸受以外の潤滑技術応用製品も開発・販売しています。



(左) TPJB (テイルティンクパッドジャーナルベアリング)
(右) TPTB (テイルティンクパッドスラストベアリング)



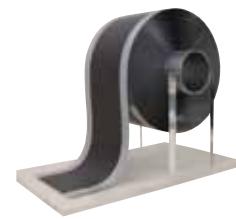
ドライベアリング



集中潤滑装置 (MR-LUB)



ロータリーポンプ



電気二重層キャパシタ用
電極シート

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間 (2016年9月30日)
流動資産	60,002	57,713
固定資産	62,918	61,211
有形固定資産	55,324	53,610
無形固定資産	2,124	2,055
投資その他の資産	5,469	5,545
資産合計	122,920	118,925
流動負債	40,337	41,806
固定負債	30,434	26,488
負債合計	70,772	68,294
株主資本	45,729	47,004
資本金	7,273	7,273
資本剰余金	8,821	8,821
利益剰余金	31,055	32,331
自己株式	△ 1,421	△ 1,421
その他の包括利益累計額	△ 1,753	△ 3,869
その他有価証券評価差額金	886	862
為替換算調整勘定	△ 159	△ 2,327
退職給付に係る調整累計額	△ 2,480	△ 2,404
非支配株主持分	8,172	7,495
純資産合計	52,148	50,630
負債純資産合計	122,920	118,925

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

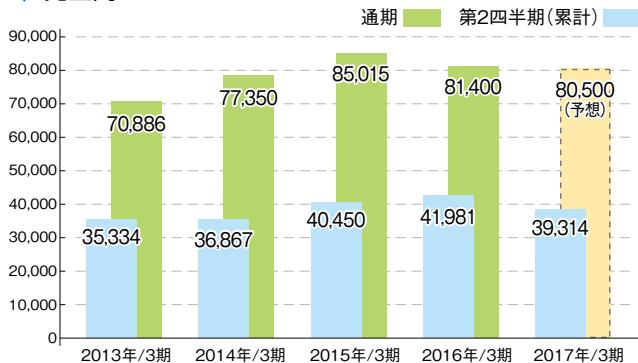
科目	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～2016年9月30日)
売上高	41,981	39,314
売上原価	30,711	28,538
売上総利益	11,270	10,775
販売費及び一般管理費	7,743	7,881
営業利益	3,527	2,894
営業外収益	599	430
営業外費用	364	714
経常利益	3,762	2,610
特別利益	-	200
税金等調整前四半期純利益	3,762	2,810
法人税、住民税及び事業税	1,178	732
法人税等調整額	23	84
非支配株主に帰属する 四半期純利益	510	199
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,050	1,793

連結キャッシュ・フロー計算書

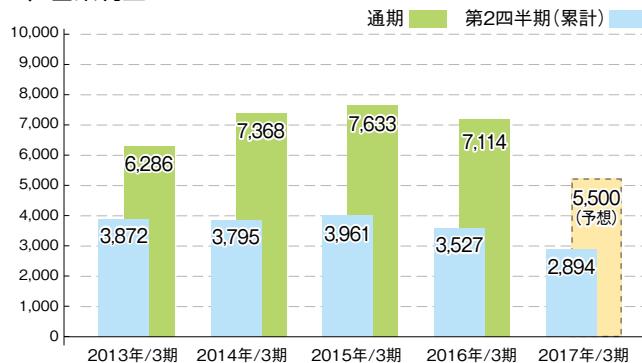
単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～2015年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2016年4月1日～2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,275	4,098
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,137	△ 5,017
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,255	460
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 31	△ 595
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 637	△ 1,054
現金及び現金同等物の期首残高	12,595	13,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,957	12,322

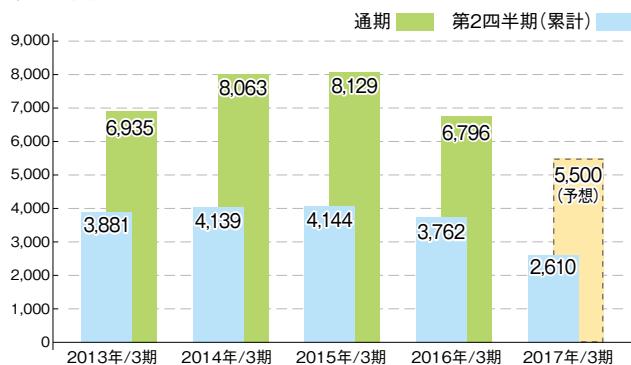
❖ 売上高



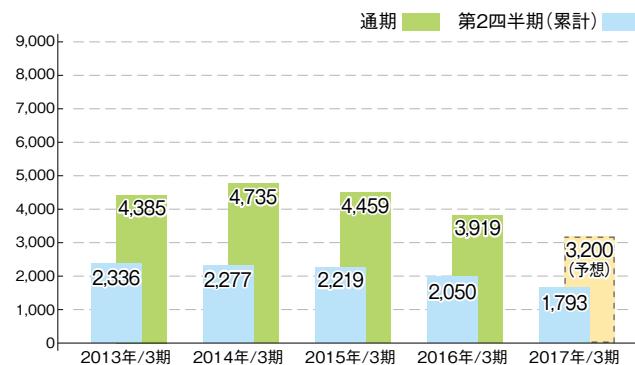
❖ 営業利益



❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純利益



❖ 設備投資額の推移



❖ 減価償却費の推移



当社グループの足元の状況といたしましては、主力の自動車関連の売上高は、国内市場の低迷が続く中、北米や中国など海外での販売が伸びており堅調に推移しております。一方で非自動車分野の建設機械や船舶向け販売は、厳しい環境の中で販売が減少しております。このような状況の中、円高の進行による円換算後の売上高の目減りも加わり、期初予想を下回る見通しとなりました。

利益につきましては、北米の増産に対応するための経費増加や、非自動車分野の販売減少、為替影響などから期初予想を下回る見通しとなりました。このような環境のもと、現時点での予想可能な範囲で通期連結業績予想の修正を行い、2017年3月期の通期連結予想数値について、上記の通り修正いたしました。

なお、株式取得により子会社となる株式会社飯野ホールディングの業績(損益)につきましては、2016年12月31日をみなし取得日とし、当社の第4四半期連結決算から反映されるため上記の修正予想に3ヵ月間の損益を織り込み済です。

単位：百万円（百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入）

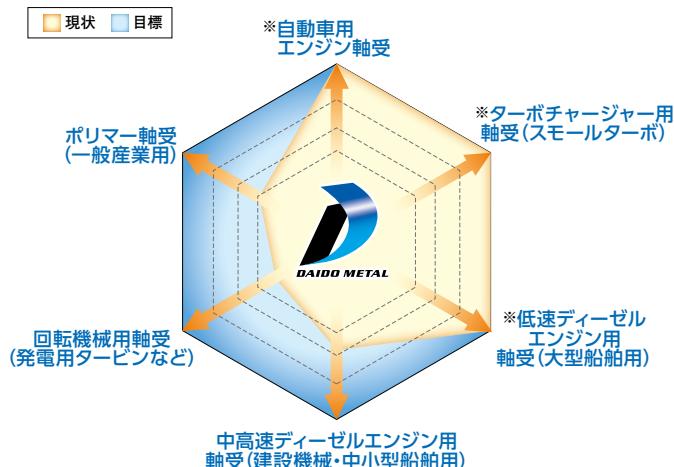
連結通期業績	【前期】 2016年3月期 (実績)	【当期】 2017年3月期 (予想)	増減額	増減率
売上高	81,400	80,500	△ 900	△ 1.1%
営業利益 (同利益率)	7,114 (8.7%)	5,500 (6.8%)	△ 1,614	△ 22.7%
経常利益 (同利益率)	6,796 (8.3%)	5,500 (6.8%)	△ 1,296	△ 19.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (同利益率)	3,919 (4.8%)	3,200 (4.0%)	△ 719	△ 18.4%

※2017年3月期通期の想定為替レート：1米ドル=100円、1ユーロ=110円
 ※業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

中期経営計画第1ステージ(2012年度～2014年度)の当社グループのチャレンジ目標である「連結売上高目指して邁進してまいります」。

Stage2 2015年度～2017年度

❖ すべり軸受全産業分野 世界シェア目標図



※：世界トップシェア(2015年暦年当社推定)

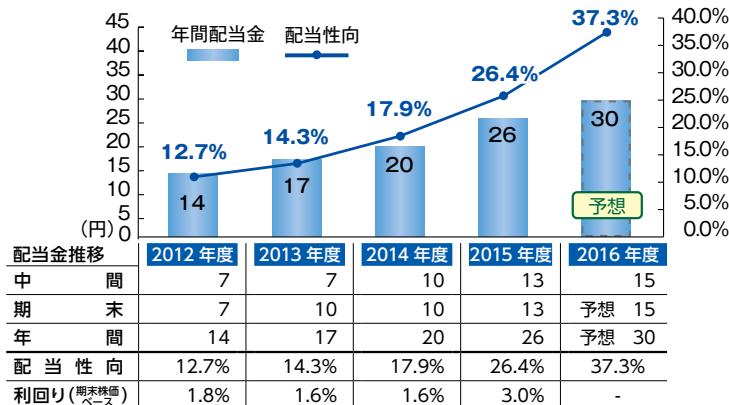
配当情報

長期安定的な剰余金の配当水準を維持する方針から、当期の中間配当につきましては、2016年5月13日公表の予想値どおり、

1株当たり15円 とさせていただきます。

なお、当期の期末配当につきましては、

1株当たり15円 予定を据え置いております。



第1ステージを終え、第2ステージ(2015年度～2017年度)の半ばに入りました。

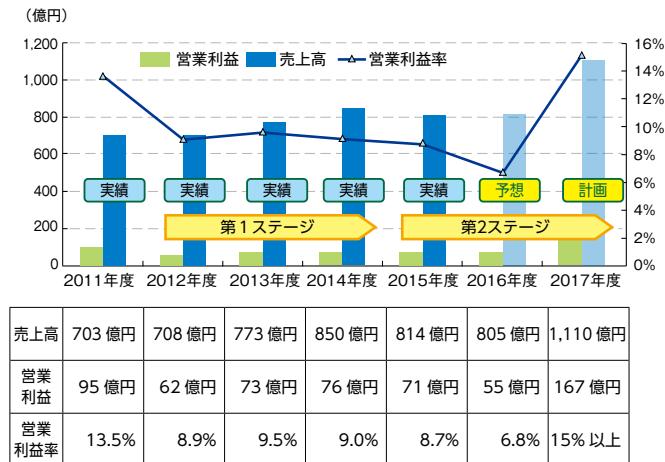
1,110億円、営業利益167億円、営業利益率15%以上」の達成並びに『すべり軸受の全産業分野での世界トップシェア獲得』を

すべり軸受の全産業分野で世界トップシェアを実現する

❖ 第2ステージの計画・進捗

時 期	拠点 及び 内容 (予定を含む)	進捗状況
第2ステージ (2015年度～ 2017年度)	大同メタル佐賀(株)設立 軸受材料(バイメタル)等工場	2015年4月設立 2016年6月稼働
	自動車用エンジン軸受工場立ち上げ (インド)	2015年9月 稼働
	自動車用エンジン軸受の生産能力増強 (韓国)	第2ステージ 期間中
	トラック用エンジン軸受事業の立ち上げ (ロシア)	第2ステージ 期間中

❖ 中期経営計画(Together To The Top)の経営目標



Topics

1. (株)飯野ホールディングの買収
—製品ラインアップを広げる—

軸受以外の事業展開、事業規模を大きくすることを狙い、自動車用エンジンやトランスミッション周辺の高精度・高品質部品(曲げパイプ、ノックピン、NC切削品等)の製造・販売を行っている(株)飯野ホールディングを子会社化いたします。海外の生産拠点を相互に活用したり、当社の取引先に飯野製の部品を拡販いたします。



2. 自動車用エンジン軸受 増産
—関市と中国に新工場を増設—

岐阜県関市に工場を増設し、2017年5月以降、順次稼働を始めます。他地域での増産も合わせて2017年には、自動車用エンジン軸受生産を2015年比で3割程度増やす計画です。世界の自動車需要は拡大が見込まれるうえに、新規受注も好調に推移していることから中国蘇州市の工場増設(2018年稼働予定)等を計画し対応いたします。

会社概要

(2016年9月30日現在)

設立	1939年(昭和14年)11月4日
資本金	7,273百万円
従業員数	連結4,743名/個別1,280名
事業内容	<p>●自動車用エンジン軸受 自動車(乗用車・トラック・レーシングカー)エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機(ターボチャージャー・バルンサー機構)用軸受など</p> <p>●自動車用エンジン以外軸受 自動車部品(トランスミッション、ショックアブソーバー、空調用コンプレッサー、ステアリング、インジェクションポンプ等)用軸受など</p> <p>●非自動車用軸受 低速(2サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、中高速(4サイクル)ディーゼルエンジン用軸受、発電(水車・タービン等)用軸受、産業用(コンプレッサー・増減速機等)軸受など</p> <p>●その他 金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート事業、不動産賃貸事業など滑軸受事業など</p>

本社	名古屋本社 〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目3番1号 名古屋広小路ビルディング13階
東京本社	〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番24号 天王洲セントラルタワー17階

国内生産拠点	犬山工場(犬山事業所内) 前原工場(犬山事業所内) バイメタル製造所(犬山事業所内) 岐阜工場 TMBS工場(犬山事業所内) TMBS = Turbomachinery Bearing Systems (回転機械用軸受)
国内販売拠点	東京支店、名古屋支店、大阪支店、浜松営業所、広島営業所、九州営業所、北関東営業所

関係会社	<p>●国内生 産：大同プレーンベアリング株式会社、エヌデーシー株式会社、大同インダストリアルベアリングジャパン株式会社、大同メタル佐賀株式会社</p> <p>販 売：大同メタル販売株式会社、エヌデーシー販売株式会社</p> <p>物 流：大同ロジテック株式会社</p> <p>不動産賃貸：株式会社アジアケルメット製作所</p>
●海外(主な拠点)	<p>【アジア】 中原大同股份有限公司(台湾) PT.大同メタルインドネシア(インドネシア) 同晟金属株式会社(韓国) BBL大同プライベートLTD.(インド) ダイナメタルCO.,LTD.(タイ) 韓国ドライベアリング株式会社(韓国)</p> <p>【中国】 大同精密金属(蘇州)有限公司(中国)</p> <p>【ヨーロッパ】 大同インダストリアルベアリングヨーロッパLTD.(イギリス) 大同メタルチェコ s.r.o.(チェコ) 大同メタルコートールAD(モンテネグロ) 大同メタルヨーロッパLTD.(イギリス) 大同メタルドイツ GmbH(ドイツ) 大同メタルロシア LLC(ロシア)</p> <p>【北米】 大同メタル U.S.A. INC.(米国) 大同メタルメキシコ S.A. DE C.V.(メキシコ) 大同メタルメキシコ販売 S.A. DE C.V.(メキシコ)</p>

役員

(2016年9月30日現在)

【取締役及び監査役】

代表取締役会長 兼最高経営責任者	判 治 誠 吾
代表取締役社長 兼最高執行責任者	榎 山 恒 太 郎
取 締 役 兼 専 務 執 行 役 員	佐 々 木 利 行
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	河 村 康 雄
取 締 役 兼 常 務 執 行 役 員	井 川 雅 樹
☆ 取 締 役	武 井 敏 一
☆ 取 締 役	星 長 清 隆
常 勤 監 査 役	玉 谷 昌 明
☆ 監 査 役	田 辺 邦 子
☆ 監 査 役	松 田 和 雄

【注】☆印は会社法に定める社外取締役及び社外監査役であります。

【執行役員】

常 務 執 行 役 員	岡 戸 篤
常 務 執 行 役 員	小 暮 圭 一
常 務 執 行 役 員	吉 田 秀 雄
上 席 執 行 役 員	佐 藤 善 昭
上 席 執 行 役 員	三 代 元 之
上 席 執 行 役 員	宮 脇 敏 之
上 席 執 行 役 員	鬼 頭 幸 裕
執 行 役 員	伊 藤 吉 明
執 行 役 員	浅 井 眞 吾
執 行 役 員	佐 々 木 秀 明
執 行 役 員	古 川 智 充
執 行 役 員	平 松 伸 隆
執 行 役 員	吉 田 有 宏
執 行 役 員	橋 口 俊 哉
執 行 役 員	墓 越 繁 昌

株式事項 (2016年9月30日現在)

❖ 株式の状況

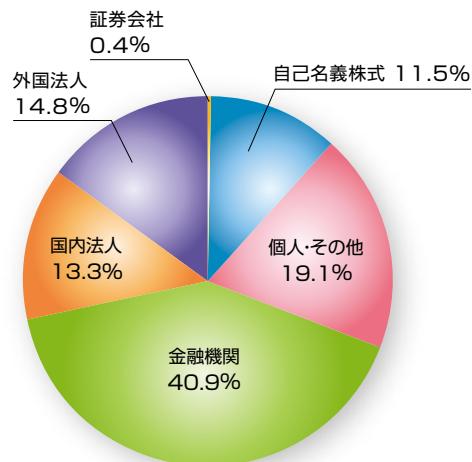
発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 44,956,853 株 (自己株式 5,140,659 株を含む)
 株主数 3,589 名

❖ 大株主

株主名	持株数(千株)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,451
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,058
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,661
大同メタル友栄会持株会	1,265
ザセリワタナ イングストリー カンパニー リミテッド 703000	1,000
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 380578	941
日新製鋼株式会社	909

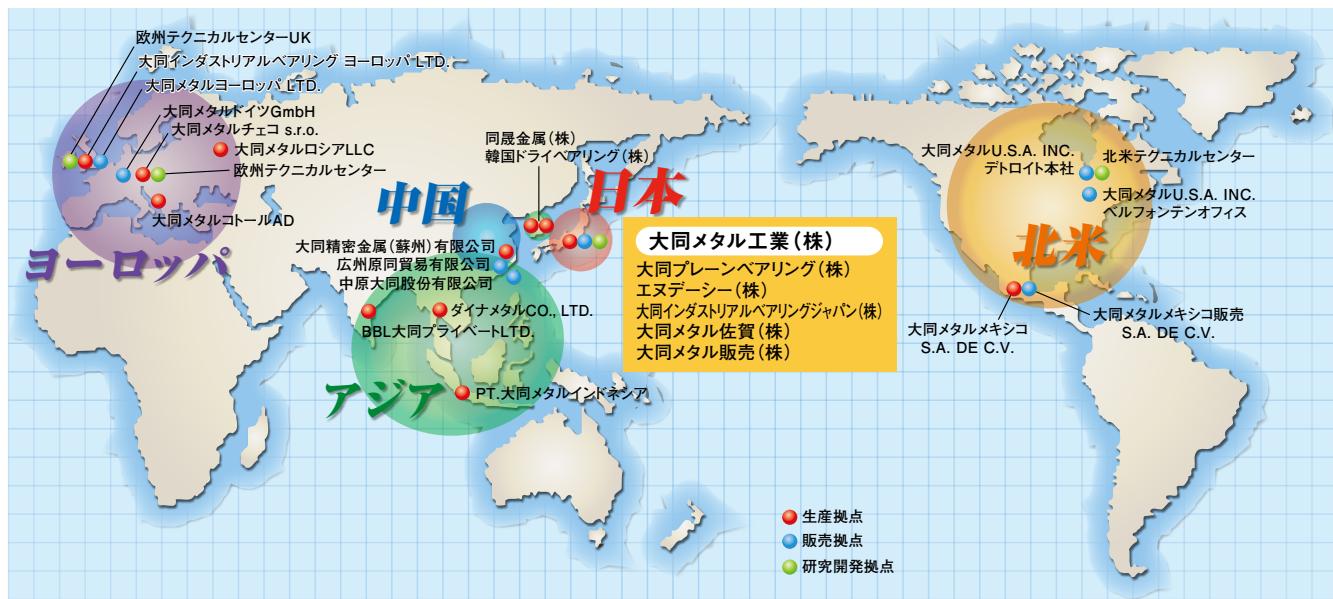
(注)当社は自己株式5,140,659株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

❖ 所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク(主な拠点)

(2016年9月30日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
単元株式数	100株	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (http://www.daidometal.com/) に掲載 します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告をすることができない場合は、日本経 済新聞に掲載します。		
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等 お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間(25年間)は、「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」が施行されており、「復興特別所得税」として0.315%(所得税額に対して2.1%)が併せて課税されています。

「配当金計算書」について

配当金お支払の際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、「配当金領収証」にて配当金をお受取りの株主様につきましては、配当金のお支払の都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00 ~ 17:00]

2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

大同メタル工業株式会社

DAIDO METAL

<http://www.daidometal.com/>



環境に配慮した
「植物油インキ」を
使用しています。



適切に管理された森林で
生産されたことを示す「FSC®」
認証紙を使用しています。